

さいたま市長 6月定例記者会見

平成27年6月4日（木曜日）

午後2時00分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社の毎日新聞さん、進行をよろしくお願いたします。

○ 毎日新聞 6月の幹事社を務めます毎日新聞と申します。よろしくお願いたします。

それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長からご説明をお願いいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。

全国的に気温が高く、夏を思わせる暑い日が続いた5月、さいたま市でも最高気温が25度以上の夏日が22日もございました。体調管理には十分お気をつけください。

さて、私は先月28日から30日まで大韓民国水原市を訪問してまいりました。さいたま市と水原市の良好な関係を強化することを目的に、友好交流に関する覚書を締結したほか、本市サッカー訪問団と水原市のチームによる親善試合にも参加をしてまいりました。今後より一層の交流を進めていきたいと考えております。

間もなくFIFA女子ワールドカップが始まります。佐々木監督率いるなでしこジャパンには、世界ナンバーワンとなった4年前の感動と興奮の再現を期待して、私も熱い声援を送っていきたいと思います。

それでは、本日の議題に入らせていただきます。

市長発表：議題1「さいたま市議会6月定例会提出について」

それでは、本日の議題の1でありますけれども、「平成27年さいたま市議会6月定例会提出議案」について説明させていただきます。

平成27年さいたま市議会6月定例会を6月10日に開催いたします。議案の提出件数は、合計で28件になっております。内訳としましては、

予算議案が3件、条例議案が14件、一般議案が9件、そして道路議案が2件になっております。

まず、予算議案から説明をさせていただきます。

予算議案は、一般会計補正予算の先議分、そして通常分、介護保険事業特別会計補正予算の先議分の3件となっております。

補正額としましては、一般会計の先議分は1億4,974万9,000円であります。また、通常分としては45億5,939万9,000円、合わせまして47億914万8,000円になっております。特別会計については、財源（更正）のみでありまして、介護保険事業特別会計におきまして、歳入の介護保険料を減額し、一般会計からの繰入金を増額するもので、予算額の増減はございません。

続きまして、補正予算の特徴についてご説明をさせていただきます。

まず、1つ目は健康福祉の充実であります。

(1)は、先議分として、低所得高齢者の経済的負担を緩和するため、介護保険料を軽減することに伴う介護保険事業特別会計への繰出金、これが1億4,974万9,000円になっております。

そして、(2)は低所得者及び子育て世代支援対策として、給付金を給付する臨時福祉給付金給付事業に12億2,888万8,000円並びに子育て世帯臨時特例給付金給付事業としまして5億455万9,000円を計上しております。

続きまして、(3)としまして、介護基盤の整備を推進するため、施設の整備等に係る費用の一部を助成する老人福祉施設等施設建設補助事業に1億3,708万1,000円、(4)は、特定不妊治療に係る経済的負担を軽減するため、男性不妊治療費を助成する母子保健事業に780万円、そして(5)は、高等看護学院の早期開校を目指して建て替え工事を実施する高等看護学院管理運営事業として7,546万8,000円及び継続費の設定で11億7,368万円になっております。

続きまして、2つ目の防災対策の強化でございます。

(1)は、本庁舎の耐震補強工事を実施するために（仮称）仮配置棟を建設する本庁舎耐震補強事業として3億1,029万4,000円、そして継続費の設定としまして10億3,249万9,000円を計上してお

ります。

そして、(2) であります。中学校の武道場の非構造部材の耐震化改修工事を実施する中学校営繕事業に17億839万9,000円を計上してございます。

その他といたしましては、(1) として、大宮区役所新庁舎(整備)を早急に進めるため、埼玉県自動車税事務所の移転補償等を実施する大宮区役所新庁舎整備事業としまして2,385万1,000円を計上しております。

そして、(2) は、建設工事費の高騰などに対応するため、昨年度に引き続き国の緊急支援措置を活用しまして、市街地再開発組合に補助金を交付する武蔵浦和駅第3街区市街地再開発事業に5億2,604万円を計上しております。

次に、主な条例議案についてご説明をさせていただきます。

(1) は、さいたま市高等看護学院条例の一部を改正する条例でありますけれども、これは市立病院施設整備事業の実施、また今後の超高齢社会の急速な進展により見込まれます市内の看護師需要を踏まえまして、高等看護学院の定員を改正するため、条例の一部を改正するものであります。

続きまして(2) は、さいたま市食品衛生法施行条例の一部を改正する条例となっております。これは、国際基準として広く普及が進んでおります食品の衛生管理手法であります危害分析・重要管理点方式を段階的に導入するために、当該方式に係る基準を加える等、条例の一部を改正するものでございます。

議題の1の議案の説明については以上でございます。

市長発表：議題2「さいたま市プレミアム付商品券を販売します」

続きまして、議題2「さいたま市プレミアム付商品券を販売します」について説明をさせていただきます。

まず、事業の概要についてご説明をさせていただきます。地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用いたしまして、市内の取り扱い加盟店でお得に買い物ができるプレミアム付商品券を販売いたします。商品券発行

者は、さいたま市商店会連合会、さいたま商工会議所により構成されましたさいたま市プレミアム付商品券発行事業実行委員会が発行することになります。

事業額は、発行総額が46億8,000万円、またプレミアム率が30%の商品券を36万冊販売いたします。そして、販売期間であります、8月29日土曜日から売り切れ次第終了となります。利用期間は、8月29日から11月30日までの94日間になります。

商品券は、商店街の店舗等の利用を促進するため、取り扱い加盟店のどこでも利用できる共通券と大型店以外の取り扱い加盟店で利用できる専用券の2種類設けさせていただいております。そして、これをあわせて1冊としまして、1万円で販売するというものであります。

この共通券については、1,000円の券が10枚、それからこの専用券については、500円の券が6枚、合わせまして1冊1万3,000円分の商品券ということになります。

販売については、1人5冊までということになります。販売場所は、商店街、あるいは大型店及び商工会議所など40か所を想定いたしております。販売協力店は現在募集中でございます。

利用できる店舗、取り扱い加盟店についてですが、商店街や大型店4,000店舗を想定しております。また、取り扱い加盟店にポスターあるいはステッカーを貼っておりますので、それが目印となります。取り扱い加盟店については、現在募集をしているところであります。

販売場所、また取り扱い加盟店については、本日から公開をしておりますさいたま市プレミアム付商品券専用ホームページなどで随時発表していきたいと考えております。

また、多子世帯購入支援事業としまして、8月29日からの販売に先駆けまして、多子世帯に対して優先販売を行ってまいります。販売期間は、8月22日土曜日から8月24日月曜日までの間で、3日間あります。販売場所は区役所の多目的室等でございます。そして、1世帯2冊を上限に販売したいと思います。

対象となる世帯であります、18歳未満の方が3人以上いる世帯で、対象世帯には優先購入券を郵送いたします。そして、ぜひこの機会にこの

プレミアム付商品券で買い物をしていただき、市内経済を盛り上げていただきたいと考えております。

議題2の説明は以上でございます。

市長発表：議題3「2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムを開催します」

続きまして、ことしで3回目を迎えます2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催概要についてご説明させていただきます。

日程は、10月24日土曜日、昨年同様、さいたま新都心駅周辺で開催いたします。ことしもクリテリウムレース、そして、それ以外にも「サイクルフェスタ」や「さいたまるしえ」を同日開催いたしまして、多くの皆様楽しんでいただけるイベントにしていきたいと考えております。

主催、共催は、昨年度と同じ体制で臨んでまいります。主催はさいたま市、そして共催は埼玉県、さいたまスポーツコミッション、公益社団法人さいたま観光国際協会、そしてA. S. O.になります。

続きまして、コースについてご説明させていただきます。

コースについては、ご覧いただきましたように、こちらは昨年のコース図でありますけれども、使用する道路は同じです。前回はこの線路沿いのこの場所がスタート地点、そしてゴール地点ということで、この周辺ですとなかなか観客の皆さんが見えにくいという状況がございましたので、今回はこちら側のちょうど今工事をしております8-1A街区の前のところにスタートとゴール地点を設定して、去年とは逆に回っていくというコース設定でございます。

その結果、スタート、フィニッシュエリアに観戦エリアを設けることができ、多くの皆さんにこのスタートのところと、最後のフィニッシュの競り合ったところを見ていただけると、興奮を味わっていただけたと考えております。ことしも高い安全性を確保した上で魅力的な競技運営に取り組んでいきたいと思っております。

当日は、交通規制をさせていただくため、近隣にお住まいの方々、また事業所の皆様、運送、そして交通事業者の方々などに大変ご不便をかけることになると思いますが、ご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

す。

次に、今回の新しい企画についてお話をさせていただきます。

今回新しい企画としまして、パラサイクリングの普及のイベントを実施してまいります。2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた自転車ロードレース競技の認知、また理解促進を目的として、今回はこのパラサイクリングの普及をさせていただきます。

案といたしましては、クリテリウムのメインレースの前に行われますクリテリウムコース上でのイベントにパラサイクリングのライダーに参加をいただいて走っていただくということ、それから2つ目としては、このPRブース。同日開催をしますサイクルフェスタ会場でこのパラサイクリングについての車両展示ブースを設置して、普及啓発に努めていきたいと思っております。現在これは案でございますので、詳細については今後詰めていながら実施をしていきたい。関係団体の皆さんと協議していきたいと考えております。

次に、オフィシャルサポーターズの募集についてでございます。

昨年同様、4つのカテゴリーに分けさせていただいております。法人サポーターは、先着400口、1口5万円であります。続きまして、個人のプラチナサポーターは限定50口、1口10万円あります。また、個人のAサポーターについては限定250口、1口3万円、個人Bサポーターについては先着1,000口、1口1万円あります。

7月3日金曜日午前11時から大会公式ホームページで募集を開始いたします。昨年よりさらに魅力的な特典を用意しましたので、興味のある方はぜひホームページをご覧ください、積極的にご応募いただきたいと思います。

ことしの特典の大きな目玉としては、個人の全てのカテゴリーの方々に観覧エリアの入場券を用意いたしました。個人プラチナと個人Aには、スーパーアリーナ内の観覧席に加えまして、先ほど言いましたスタートとフィニッシュエリアに設ける特設観戦エリアにも入ることができる、そこで最後のフィニッシュ等を見られるようにさせていただきました。また、昨年までは観覧席のなかった個人Bにつきましても、スーパーアリーナの観覧席を用意させていただきました。

個人プラチナには、さらにコースの体験走行や選手ピットエリアのバックヤード見学ツアー、また選手とのハイタッチ体験など、プレミアム感を味わっていただける特典を用意いたしました。

次に、このオフィシャルサポーターの特典グッズについてでございますが、これらは全て非売品であります。法人サポーターについては、社内で応援いただけるグッズということで用意をいたしております。

それから、個人プラチナと個人Aにつきましては、サイクルジャージのほか、サポーター限定のパス、それからピンバッジ、また個人Bにつきましては、このBUFF®に加えて、限定パス、それからサコッシュ、ピンバッジという特典がございます。

次に、メインビジュアル・ポスターであります。今回のデザインコンセプトは、ツール・ド・フランス風の自転車に日本らしい和柄や花柄を組み合わせたものとなっております。新都心の町並み、また盆栽をイメージした松の木など、さいたまらしさを表現いたしております。ジャージの色は、さいたま市の10区の色を使わせていただいております。このメインビジュアルを活用しまして、市内だけでなく、市外、県外に、さらには国外にも積極的にPRしていきたいと考えております。

また、ことしもそれ以外に多彩な大会オフィシャルグッズを用意しております。オフィシャルサポーター募集開始と同じ7月3日金曜日から予約販売の受け付けを開始する予定となっております。ラインアップは今後さらに増やしてまいります。

今後は、大会の開催に向けてPRに努め、ぜひ報道の皆さんにもご協力をお願いしたいと考えております。

議題の3の説明については以上でございます。

私の説明は以上です。

- 毎日新聞 では、市長からの説明について質問をお願いいたします。

議題に関する質問

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。クリテリウムについてお伺いします。

先日コースですとか、あと正式契約されたことが実行委員会で報告されましたが、昨年よりは速いペースで進んでいるかと思えます。今後スポン

サー集め等がどれぐらい集まるかというのが焦点になってくると思うのですが、ことしの目標額ですとか、あと冠スポンサーがどうなるかとか、そういうところの今の状況を教えていただけますでしょうか。

○ 市長 スポンサーについては、昨年並みあるいはそれ以上を目指していきたいと思っております。冠スポンサーについても、既に幾つかの企業とお話を進めているという状況になります。

○ 埼玉新聞 スポンサーは、早く決まったほうが当然提供する側にとってもメリットが大きいと思うのですが、例えば冠スポンサーについては、いつぐらいまでに決めたいというお考えなのでしょうか。

○ 事務局 冠スポンサーにつきましては、極力早い段階で決定していきたいと思えます。といいますのは、あの様なメインビジュアルをもとにメディアへの露出をより早くしたいという中で早目に冠スポンサーを決めていくという方向で動いております。

以上でございます。

○ 埼玉新聞 それから、関連してなんですが、去年はテレビ東京さんでしたっけ、生中継がありましたけれども、ことしはその中継等の予定はどうなっているのかとか、あともう一つ、事務局支援業務ということで、博報堂さんでしたっけ、去年は契約しましたが、ことしはどういった形で、その支援業務は委託等をされる予定なのでしょうか。

○ 事務局 テレビ放送に関しましては、業務委託しております博報堂を通じまして今精査している段階でございます。そして、事務局支援業務につきましても、博報堂と昨年並みに進めておるところですが、その中でも協賛企業を昨年以上に募るために、スポンサーメリットに、例えば（パッケージを加えて）で売るとか、そういったより多くのメリットがスポンサーの方に与えられるよう工夫しながら進めているような状況でございます。

以上です。

○ 毎日新聞 ほかいかがでしょうか。

○ 読売新聞 読売新聞です。プレミアムつき商品券についてお尋ねします。

もし数字があればなのですが、この事業によるいわゆる地元への経済波及効果について、その額の試算などあれば教えてください。

○ 市長 現在試算はなされてはおりませんが、この商品券で市内での消費喚起、

また売り上げの増加など、短期的に即応性のある経済効果が期待できると考えております。商品券の利用に対しておつりは出ないということもございますので、46億8,000万円以上の経済効果が見込まれるということでもありますけれども、まだ具体的な試算はなされていないということでもあります。

幹事社質問：待機児童について

○ 毎日新聞 では、代表質問に移ってよろしいですか。それでは、幹事社として代表質問させていただきます。質問は2点です。まとめて行いますので、よろしくをお願いします。1点目が、今年度の待機児童数について受けとめをお聞かせください。もう一点が、待機児童が生じた要因と今後の解決策についてお聞かせください。

○ 市 長 それでは、幹事社の質問にお答えをいたしたいと思えます。

まず、ことし4月の保育所等の利用待機児童数につきましては、昨年4月の128人より33人少ない95人という結果となりました。市では、昨年度の1年間で約18億円をかけまして保育所等の施設整備を行い、定員を合計で1,109人増加させるなど、新たに実施をいたしました定員19人以下の小規模保育事業等を含めると、児童の受け入れ枠を1,869人増員し、定員を拡大してまいりました。

今回の結果は、これまで子育て支援施策の充実を図り、待機児童の解消を目指してきた取り組みに、かなり数を拡大したということなども含めまして、一定の効果があつたと捉えております。今回の数値は、国による待機児童の定義変更を踏まえて算出した数値でございますので、従来の定義による算出では、待機児童は48人ということでありまして、昨年と比べると半減以下となっているということでありまして、かなり前進をしたと考えております。

昨年よりも減少して95人ということになりましたけれども、待機児童がまだ解消されていないことを考えますと、保育所や認定こども園などの保育施設の利用を希望される方がやはり年々増加していることが挙げられると考えております。保育所や認定こども園、また新たに実施をいたしました小規模保育事業などを合計した新規の利用申し込み児童数は

6, 578人と、昨年と比較をしますと127人増加をしているという状況がございます。本市では、保育所等の整備を積極的に推進しているところではありますが、女性の社会進出、また共働き世帯の増加など、社会環境の変化によって、保育所等の利用を希望されている方が増えていると考えております。

今後の解決策につきましては、今年度予算におきましても約24億円を計上しまして、平成28年4月の開設に向けて、認可保育所等の定員を1,120人増加させる施設整備を予定しております。また、ことし3月に策定をしました今後5年間の子育て支援に関する事業計画でありますさいたま子ども・青少年のびのび希望（ゆめ）プランでは、さらなる施設整備を進め、認可保育所等の定員を1,300人増加させる施設整備を計画しているところであります。

施設整備によるハード面の取り組みと、またあわせて今全区に配置しております保育コンシェルジュによる保育を必要としている人に対する保育施設や保育サービスに関する情報提供、また利用に関するきめ細やかな相談対応といったソフト面の施策、これを組み合わせて、あらゆる方策をとって、待機児童ゼロに向けて努力をしていきたいと考えております。

今後につきましても、現在待機児童となられている方を含めまして、保育を希望される方が一人でも多く保育施設を利用できるよう、さまざまな方策を取り入れながら、市の重点施策として待機児童対策に取り組んでいきたいと考えております。

- 毎日新聞 では、今の代表質問の説明に関して、質問がある方は質問してください。

幹事社質問に関する質問

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
今の待機児童の件なのですけれども、市は2017年4月までに待機児童解消ということで、目標設定しているかと思うのですけれども、現段階でのペースといいますか、例えば来年度までにどう、2017年度までにどうかという、中間目標みたいなものは何かあるのでしょうか。
- 市長 整備目標を立てて、今着実に、かつ前倒しをして整備しておりますので、それが達成されれば実現ができるのではないかと考えておりますけれども、

ただとにかくやはりこの社会的ニーズの拡大という意味では、私たちが想像している以上にもっと大きなものがあると思っていますので、先ほども言いましたけれども、(さいたま子ども・青少年のびのび希望(ゆめ)プラン)などでは、もう少し積極的なプラン、整備数を掲げて実施をしていくということの中で解消していきたいと思っております。

- 埼玉新聞 そうすると、例えば極端な話ですけれども、来年4月1日段階でゼロになる可能性もあるということで、あともう一点、これは施設整備ですとか、保育コンシェルジュとか、ソフトの面ですとかハードの面でいろいろ充実をさせていく中で、逆に需要の掘り起こしといいますか、だったら私も子どもを預けて働いてみようかなという新たな需要が掘り起こされるという、これはいいことなのですけれども、それが想定される場合は、例えばこの2017年4月というのはちょっと先になる可能性も出てくるかと思うのですけれども、そのあたりについての兼ね合いはいかがでしょうか。

- 市 長 今お話がありましたように、多少需要喚起する、あるいは社会的な環境の中で、やはりこれまで以上に女性の社会進出あるいは共働きということが増える傾向にあるかと思っております。私たちもできるだけそういったニーズをしっかりと把握しながら、それを踏まえてやっていくことが必要だと思っておりますけれども、そういう意味で前倒しをしたり、待機児童の数よりも大幅な定員の増員に取り組んでいるところではありますが、その辺はなかなか十分把握し切れないところもございますので。

ただ、もう一方で、できるだけそういったことも踏まえて整備をしていくようにしているという状況だと思っております。

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
- 利用不承諾者数の件についてお伺いします。去年は2,215人で、ことしは1,815人ということで、400人減ってはいるのですが、依然として高い数字が出ています。ただ、最終的に待機児童にならなかったのは、育休等を延長したりとか、あと認可外保育所に入ったりして、95人になったと思うのですが、今後やはりより質のいい保育を提供していくということを考えれば、最初の段階の不承諾者数を減らすということも非常に重要かと思うのですが、この点については市長としてはどのように解決していきたいとお考えでしょうか。

- 市長 もちろんこの不承諾者数をできるだけ少なくしていくことはありますけれども、基本的には国からの基準に基づいて私たちはやらせていただいておりますし、また認可保育所の整備、拡充をしておりますけれども、これは認可保育所だけではなくて、いわゆる（ナーサリールームなど）、市が独自で認定をしているところであるとか、あるいは幼稚園の預かり保育など多様な保育がありますので、そういったことも含めて、しっかりと子育て中の皆さんに情報提供していく中で、それぞれニーズに対応した保育が提供できるようにしていきたいと考えております。そういう意味ではこの認可保育所の不承諾ということだけではなかなか全て判断できるわけではないと思っておりますので、そういった多様な保育を提供する中で、よりそれぞれのご家庭に合った選択をしていただけるように私たちとしても努力をしていきたい。また、そういった選択肢もあるということについてもご紹介をしたいし、ご理解をしていただけるようにお話もしていきたいと思っております。

その他：埼玉県知事選について

- 毎日新聞 それでは、そのほかに質問がある方はお願いします。
- 私から伺ってもよろしいですかね。知事選の関係なのですけれども、今週月曜日の6月1日に市長会さんが、現職の上田知事に知事選の候補者として推薦状を渡したということがありました。
- そこで、市長会長としては、全体の約9割の市長の方の賛同が得られたとおっしゃっていました。この件に関して、清水市長が賛同されたかどうかをお聞きします。
- 市長 まず、市長会で提出をした推薦については、私自身は現時点ではまだいたしておりません。ただ、現時点ではまだ知事のほうも出馬をするのかどうかということの態度が明らかになっていないということなどもございますので、現時点ではそういったことは行っていないということでもあります。
- 毎日新聞 では、その9割の中には入っていないという認識で。
- 市長 その辺は、そうだろうと思っておりますけれども、その辺は私が集計したわけではありませぬので、私自身はその辺についてはわかりませぬし、コメントできません。

- 毎日新聞 候補者が誰がお出になるかということは、決まってから態度を決められるということですかね。
- 市長 そうですね。基本的には、今後上田知事に要請をしている団体や有志の皆さんもたくさんいらっしゃるし、それを受けて知事がどうされるのかということもあるし、あるいはほかの候補者が出てくるのかということもあるかと思います。現時点で言えば、これまで3期12年の間に上田知事がやってきた大きな実績であるとか成果については、私自身は大変大きく評価いたしておりますし、そういう意味ではシンパシーも感じているところもありますし、しっかりした知事であるという認識を持っております。ただ、現時点では態度を表明されておられませんので、その後ということになろうかと思います。
- 選挙ということでは、過去の評価だけではなくて、今後何をやるかということも当然重要な視点になろうと思いますので、そういったことも総合的に鑑みて対応していきたいと思います。
- 毎日新聞 ほかいかがでしょうか。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
- 知事選に関して質問します。上田知事が出馬を正式に表明された場合は、市長としては何らかの支援するかどうかの態度表明をするおつもりなのでしょうか。
- 市長 仮定の話には現時点では答えられません。ただ、候補者がそれぞれ表明されて、出そろってきた段階で、やはりそれぞれの次に向けての政策が表明されていく中で、どういうふうな態度をするかということは、表明というか、対応していきたいと思っております。
- 埼玉新聞 そういう意味では、今後の4年間の県政を任せるにふさわしい人材というのは、どういう方だと市長自身はお考えでしょうか。
- 市長 1つは、これは日本全体の大きな課題だろうと思いますが、これから長期的な視点に立つと、やはり人口減少、それから超高齢化という時代がもう目の前に来ていると。その中で、特に埼玉県の場合は、非常に人口はまだふえておりますけれども、でもやはり急激に高齢化が進んでいくこのスピードは、47都道府県の中でやはりナンバーワンということがありますから、そういった長期的な視点をしっかり持って、いわゆる長期的

な視点から、次の4年どういうふう施策を打っていくことが必要なのか。この埼玉県の地理的な特性、あるいは埼玉県の強み、そういったものを活かしてどういう政策をとって、そしてまさに地方創生ではありませんけれども、埼玉県としてやはり選ばれる県になっていくのか、あるいは住んでいる県民の皆さんがより幸せを実感できるようになっていくのかということが重要だと思っておりますので、まず長期的な視点を持って、そして施策を提案していただける方ということになるのだろうと思います。それから、やはりリーダーシップのしっかりした方ということなのだろうと思いますが。

○ 読売新聞

読売新聞です。

確認をさせていただきます。先ほどの知事選の話で、3期12年の実績は非常に重視されていて、シンパシーを感じていらっしゃるということでしたけれども、考えようによっては出馬を期待されているというふうにもとれるのですが、そのような認識でよろしいのでしょうか。そこまでは。

○ 市長

出馬するしないは、やはり政治家個人の、政治家としての考え方がございますので、いろいろな方が出てほしいという声もあるかもしれません。あるいはそうでない方もいらっしゃるかもしれません。でも、それらも含めて、自分が出るべきかどうかという判断は政治家個人がすべきだと思っておりますので、現時点では私自身としては特にどうすべきということは差し控えたいと思っております。

○ 毎日新聞

ほかにいかがでしょうか。

その他：震災への対応について

○ 埼玉新聞

ちょっと話が変わってしまうのですがけれども、5月25日と30日に埼玉県内でも震度5以上を観測する地震が幾つかありまして、市の施設でもエレベーターがとまるという被害というのですかね、そういう状態が続きまして、たまたま中に人がいらっしゃらなかったからよかったですけれども、そのエレベーターは業者さんが来ないとあけられないという状態が続いておりまして、一般の市民の利用が非常に不便だったといえますか、もし中に人がいらっしゃったら大変だということだったのですけれども、今地震ですとか、火山の噴火ですとか、各地でいろいろと自然災害が相次

いでいるのですけれども、市としまして、改めてこういう震災ですとかに
対しての備えですとか、先ほど申し上げたエレベーターの問題ですとか、
何か対応されていることというのはあるのでしょうか。

- 市長 さいたま市としても、防災についてのいろいろな計画あるいは取り組み
を行っておりますけれども、やはり昨今の自然災害については、かなりい
ろいろな災害が起こってきて、その際にいろいろな経験をして、課題と思
われることが幾つか出てきておりますので、その都度その課題を十分に把
握して、それをどう解決していくかということについては、現在も検討し
ているところだろうと思いますので、今回はそのエレベーターの問題など
もございますけれども、そういったことも含めて、やはり順次現在市が持
っている計画であるとか、あるいは実施していること以外にさらに充実を
したり、あるいはやり方を変えたり等々必要な時には、その都度変更して
いくということをしていきたいと思っています。

その他：大韓民国 水原市訪問について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
先日韓国に行かれて、交流されて、覚書を交わされたということですが、
主にサッカーを通じた交流ということだったと思うのですが、改めて訪問
して、市長どのような意義をお感じになって、今後どういう交流をしてい
きたいとお考えでしょうか。
- 市長 先週韓国の水原市を訪問させていただきました。今回の協定といいま
すか覚書については、サッカーということを前面に出しております、2つ
目は今後それ以外の分野についても検討するという事で書かれているも
のでありますけれども、水原市について言うと、さいたま市の状況と非常
に似ている環境があります。
まず、首都ソウルからの距離感であるとか、あるいは例えば非常にスポ
ーツが盛んであるとか、あるいはいろいろ環境であるとか教育に対する取
り組みなど、そういう意味ではいろんな分野で協力をしたり、あるいは交
流をしたりということで、お互いに大変いい効果が出てくる分野も結構あ
るのではないかと考えております。今回のサッカーでの交流というのはそ
の第一歩だろうと思いますので、具体的にどういった分野で交流をしてい

くのかということについては、今後詰めていきたいと思っております。

その他：浦和レッズについて

- 埼玉新聞 もう一点よろしいでしょうか。少し関係があると言えはありますが、Jリーグの浦和レッズが、きのう柏と引き分けて、早ければ7日にもステージ優勝が決まるという状況にあります。今すごい好調な状況にあるレッズに対する市長の思いと、あと例えばステージ優勝が決まると思われる日に何かイベント等を行うのか、または決まった後に何かパレード等、そういった祝賀行事を考えていらっしゃるのか、その点をお聞かせください。
- 市 長 まず、今年度の浦和レッズの戦いぶりについては、大変積極的な攻撃、それからしっかりとした自信を持ったプレーというのが大変際立っていて、今後も大きく期待ができる試合ぶりをしていただいていると思っております。ちょうど初戦からずっと14試合ですか、負けなしということで、Jリーグ記録もつくったということでもありますので、この記録をさらに伸ばしてほしいと思っております。
後者の部分については、現時点では、まだ何とも申し上げられないということです。
- 埼玉新聞 7日の日がちょうどホームのゲームなのですが、市長、例えば応援に行かれたりする予定はありますか。
- 市 長 今すぐにはお答えができません。スケジュールを把握していないので済みません。
- 埼玉新聞 去年は、最後の最後で優勝できなかったという、かなり期待が高まった状況の後、失速してしまったという状況だった、そういうことで市民の方も大分がっかりされたと思うんですけれども、ことしこそはという、やっぱり期待は市長もかなりお持ちなのではないでしょうか。
- 市 長 去年、それからおととしも含めて、一番悔しい思いをしてきたのは選手の皆さんであり、チームの関係者の皆さんだと思っておりますので、その悔しさをばねにここまでやってきていると思っておりますので、これからさらにパワーアップして頑張ってくれるという期待等もしておりますし、また信じてもおります。
- 毎日新聞 どうもありがとうございました。

以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ 進 行

以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

次回の開催は、6月30日火曜日1時半からを予定しておりますので、
よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

午後2時49分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み
易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等され
た文言等については（ ）とし、下線を付しています。